
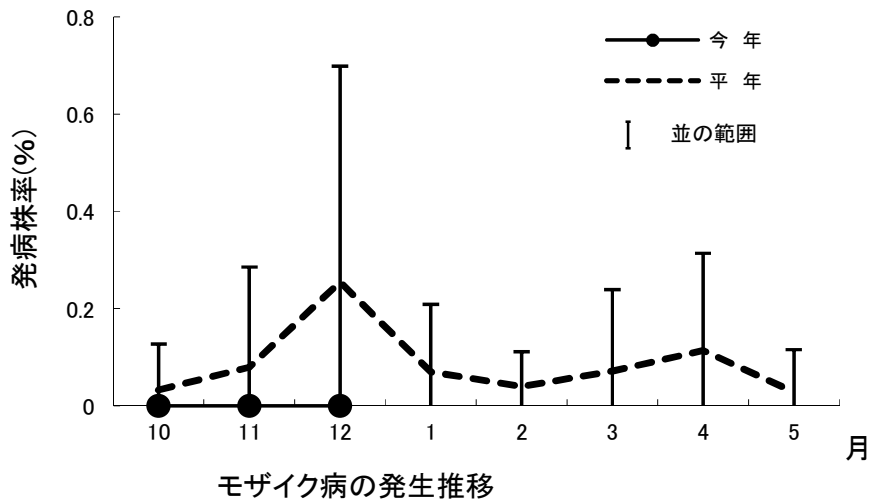




|             |                                     |   |      |  |
|-------------|-------------------------------------|---|------|--|
| 作物          | ピーマン                                | 地域  | 沖縄群島 |  |
| 病害虫名        | モザイク病                               |  |      |  |
| 12月の発生量（現況） | (発生なし)並                             |   |      |  |
| 1月の増減傾向     | ↘                                   |   |      |  |
| 増減傾向の根拠     | 発病株率の平年の発生推移から、12月より発生量は減少すると考えられる。 |   |      |  |

発生量の根拠（調査結果）

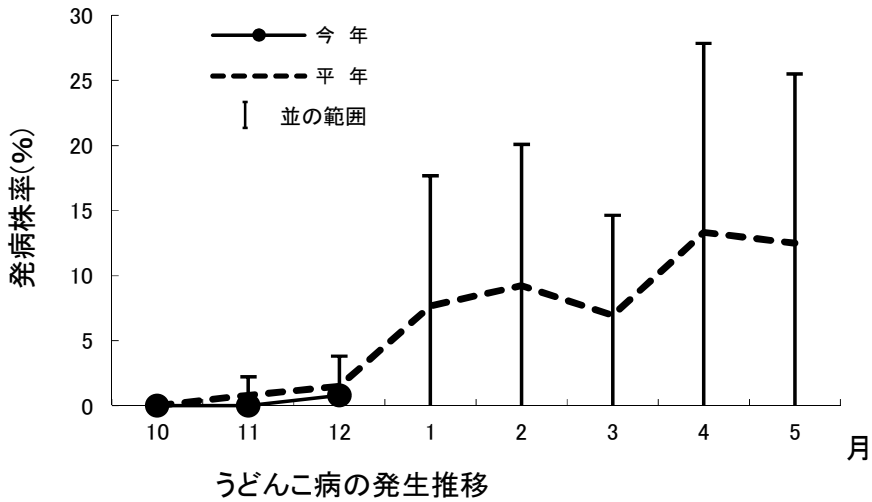


防除のポイント

- ・発病株は伝染源となるため見つけ次第抜き取り、施設外に持ち出しビニール袋に入れて密閉処分する。
- ・本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒・洗浄を行う。


|             |                                     |   |   |
|-------------|-------------------------------------|---|---|
| 作物          | ピーマン                                | 地域  | 沖縄群島  |
| 病害虫名        | ① うどんこ病                             |  |  |
| 12月の発生量（現況） | 並                                   | 発病株   | 葉裏のカビ   |
| 1月の増減傾向     | ↗                                   |   |   |
| 増減傾向の根拠     | 発病株率の平年の発生推移から、12月より発生量は増加すると考えられる。 |   |   |

発生量の根拠（調査結果）

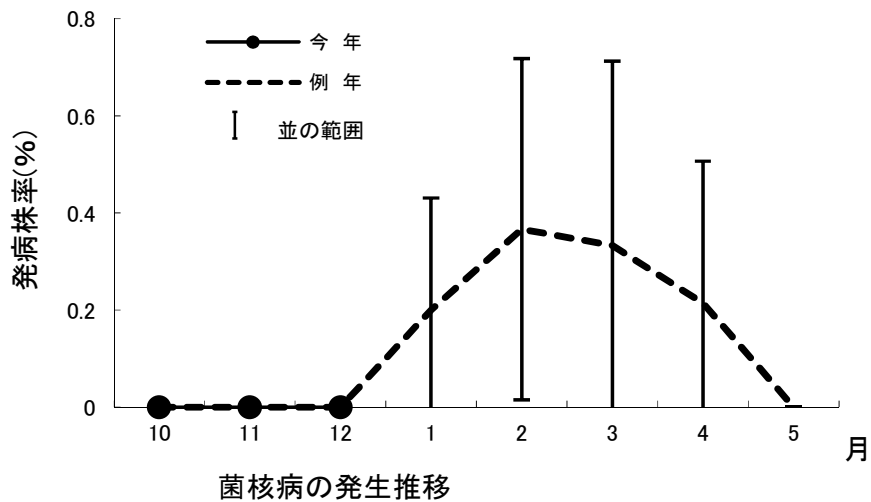


防除のポイント

- ・ 通風が悪いときに多発生しやすいので、老葉や病葉を除去し、透光通風を良くする。
- ・ 多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・ 今後、発生が増加すると考えられるので防除を徹底する。
- ・ 多発すると防除が困難となるので、葉をよく観察し早期発見・防除に努める。



|             |                                     |   |      |
|-------------|-------------------------------------|---|------|
| 作物          | ピーマン                                | 地域  | 沖縄群島 |
| 病害虫名        | ② 菌核病                               |  |      |
| 12月の発生量（現況） | (発生なし)並                             |   |      |
| 1月の増減傾向     | ↗                                   |   |      |
| 増減傾向の根拠     | 発病株率の例年の発生推移から、12月より発生量は増加すると考えられる。 |   |      |

発生量の根拠（調査結果）

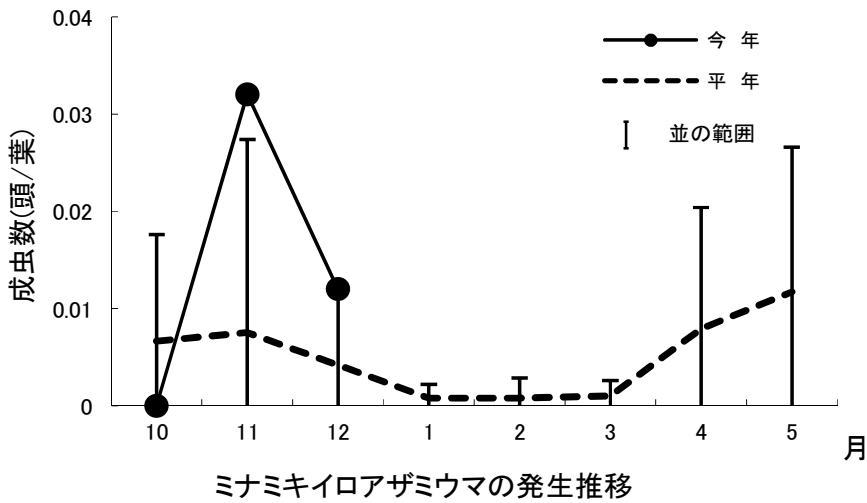


防除のポイント

- ・ 発病部位は、菌核が形成される前に早めに除去し、施設外に持ち出しビニール袋に入れて密閉処分する。
- ・ 多湿条件下で発生しやすいので、換気を十分に行い多湿にならないようにする。
- ・ 発生しやすい時期なので、薬剤による防除に努める。


|             |                                    |    |   |
|-------------|------------------------------------|----|---|
| 作物          | ピーマン                               | 地域 | 沖縄群島  |
| 病害虫名        | ③ ミナミキイロアザミウマ                      |    |   |
| 12月の発生量(現況) | やや多                                |    |   |
| 1月の増減傾向     | ↓                                  |    |   |
| 増減傾向の根拠     | 成虫数の平年の発生推移から、12月より発生量は減少すると考えられる。 |    |   |

発生量の根拠(調査結果)

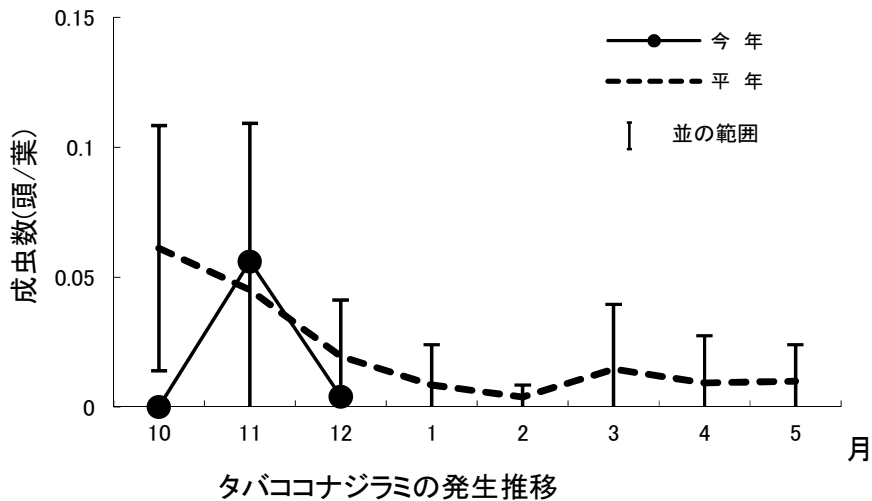


防除のポイント

- ・本種は新葉や果実を吸汁により加害する。新葉は縮れ、果実にはコルク化した線状の傷が付く。また、スイカ灰白色斑紋ウイルスを媒介する。
- ・施設の開口部には防虫ネットを張り飛来侵入を防ぐ。
- ・繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、青色粘着板等を用い初期発見・防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない薬剤を選定する。

|             |                                    |   |      |
|-------------|------------------------------------|---|------|
| 作物          | ピーマン                               | 地域  | 沖縄群島 |
| 病害虫名        | タバココナジラミ                           |  |      |
| 12月の発生量（現況） | 並                                  |   |      |
| 1月の増減傾向     | ↓                                  |   |      |
| 増減傾向の根拠     | 成虫数の平年の発生推移から、12月より発生量は減少すると考えられる。 |   |      |

発生量の根拠（調査結果）



防除のポイント

- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・本種は、多発すると果実の着色異常やすす病を引き起こすため、早期発見・防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。